# 「みんなで良くなるPTA」令和4年度活動報告

## 【東雲 中学校】

| どのような取り組みでしたか？ |
| --- |
| 忖度なしの経費削減 |

| 困っていたことは？ |
| --- |
| 過去と同等のことをすると大幅な赤字運営になることが判明しました。生徒数の減少、会員の減少で収入が減ることはわかっていたので、会長１年目に大幅な事業縮小をしたのも「焼け石に水」。２年目に忖度なしで経費を削減しなくてはならなくなりました。 |

| 良くするための取組み工夫は？ |
| --- |
| １年目の取り組みは、「事業の中止」と「デジタル化」です。コロナ禍という追い風（？）もあって、イベント事は中止や縮小。デジタル化はZoomやエルガナの導入による「場所」「時間」を選ばない会議、書面総会などのアンケートのWeb化による紙媒体と労力の削減です。<br>２年目はさらに収入が減る見込みになったため、広報紙を自前で作りプリントパックなど安価な業者で印刷、部活動などへの助成金を大幅削減、PTAお手伝いへの賄い費全面カットなどです。印刷物も極力減らし、PDFにしてメールで会員に配布しました。 |

| どのような結果でしたか？ |
| --- |
| 会費収入－支出＝数万円というところで着地し、何とか赤字は逃れました。<br>１年目から、今後のことも踏まえて生徒への助成も減らす話をしたのですが、多くの方から反対を受けました。ただ、２年目に入り、赤字運営になりそうな状況を目の当たりにすると、生徒への助成額を減らすことにも反対する方はおらず、逆に先生方からも減らす方法について検討・提案していただけるようになりました。<br>また、今まで業者任せにしていた広報紙についても、自分たちだけでも作れるのだということをわかっていただけました。いろんなことを自前でしていただきご苦労を掛けたと思いますが、結果的には良かったと思います。 |

| さらに良くするためには？ |
| --- |
| 支出を抑える面では、「固定経費」をいかに削減するかが今後のポイントです。印刷関係だけで収入の１／５を占めるため、できる限りのデジタル化の促進と、印刷物の縮小が必要です。紙媒体がなくなるとは思いませんし、無くなってはいけないものだとも思います。どのような形にするかが今後の課題です。<br>収入においては、会費収入以外の収入源を作り出すことです。学校によっては古紙回収や物品販売で会費を生み出しているところもあります。地域団体との調整が必要かもしれないので慎重に進める必要があると思います。また、ＰＴＡに加入されない保護者をどうするかです。ＰＴＡが任意団体である以上、会員の方々が「加入したい」と思うような団体にしなければならないと思います。 |